

# 令和2年度 事業運営の基本方向

日本アルコール産業株式会社

令和2年3月27日

# 令和2年度の事業運営の考え方

令和2年度は、中期ビジョン（2019～2023年度）の諸施策を推進し、長期的展望に立ち、速やかかつ強力に、発酵、合成を問わず、供給予備力の整備、強化を推進します。

アルコール事業は、発酵アルコールについて、新型コロナウイルス感染症対策需要の急増に適確に対処しつつ、鹿島工場のデボトルネッキング（99度蒸留設備及び冷却塔）とタンク増設を行うとともに、出水工場の99度設備デボトルネッキング、袖ヶ浦作業所のタンク整備を逐次、実施に移します。このほか、品質管理の強化と製造コスト削減等に取り組みます。合成アルコールについては販売数量の維持に努め、日本合成アルコール株式会社における合成アルコール供給力の質的向上を支援します。関連事業は、業務の再編、戦略営業の推進に取り組み、事業基盤の再構築を行います。

また、新卒採用予定者数を確保し、人材育成と組織の活性化を図るとともに、働きやすい職場環境の整備に継続して取り組むほか、新稲毛社宅の建設を行います。

# I. アルコール事業

## ■ 発酵アルコールの供給予備力の充実

- 鹿島工場のデボトルネッキング（99度蒸留設備及び冷却塔）、製品及び原料タンクの増設工事の確実な遂行により、安定供給基盤の強化を図ります。
- 出水工場の99度設備デボトルネッキング、袖ヶ浦作業所のタンク整備を逐次、実施に移します。
- 鹿島工場の系列増強等の詳細について引き続き検討を行います。
- 安定的な320日操業体制の確立を目指し、人員増強、設備メンテナンス仕様の見直し等に取り組みます。
- 需要に応じたサプライチェーンマネジメントを徹底し、3工場の最適生産とトータルコストの極小化を目指します。
- 製品品質の管理を徹底します。

- 原料貯蔵設備を効率的に運用し、発酵アルコール原料の安定的調達と工場への安定回送を図ります。
  - 販売用途拡大のため、酒類製造免許取得について検討を行います。
- 合成アルコールの販売数量の維持と供給力の質的向上
- 販売数量の維持に努め、日本合成アルコール株式会社における合成アルコール供給力の質的向上の強化を支援します。

## II. 関連事業

新型コロナウイルス対策需要の急増に、当分の間、適確に対処し、同時に、業務の再編、戦略営業の推進に取り組み、事業基盤の再構築を行います。

## Ⅲ. 技術力の強化

- 海外エンジニアとのミーティングや重要機器のメンテナンス講習会等を通じ、社員の技術力の向上を図ります。
- 運転条件、コスト、プロセス変更の検討のため、蒸留プロセスシミュレーション技術等の更なる活用拡大を図ります。

## Ⅳ. 人材力の向上

- 計画的な採用、グループでの教育訓練、研修、資格取得を通じ、人材力の向上を図るとともにグループ人事交流による人材活用を図ります。

## Ⅴ. 安定配当の継続

- 適正な営業利益を確保に努め、安定配当を継続します。

# 収支計画概要

以上の取り組みにより、令和2年度事業計画では、以下の目標の達成を目指します。

(単位:百万円)

<b>売上高</b>	<b>27,538</b>
<b>営業利益</b>	<b>546</b>
<b>経常利益</b>	<b>549</b>